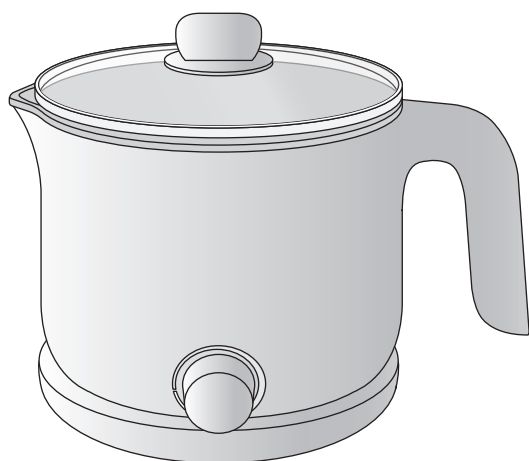


- 業務用として使用しないでください。
- 他の用途でのご使用はしないでください。
思わぬ事故の原因になります。

家庭用

クッキングケトル YRGB-S600



もくじ

- 安全上のご注意…………… ①～②
- 使用上のご注意…………… ③
- 各部の名称…………… ③～④
- 使いかた…………… ⑤～⑦
- お手入れ…………… ⑧
- 故障かな?と思ったら…………… ⑨
- 仕様…………… ⑨
- アフターサービスについて…………… ⑩
- 保証書…………… 裏表紙

この商品は、海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

- ・このたびは、弊社クッキングケトルをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。
- ・ご使用前に、この取扱説明書を必ずよくお読みになり正しく安全にお使いください。
- ・お読みになった後は、大切に保管してください。

最新情報はオリジナルブランドページ

YAMAZEN BOOK を
チェック!



随時情報を更新中!

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、安全に関する内容を記載しています。内容をよく理解して記載事項をお守りください。



警告

誤った取り扱いをしたときに死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの



注意

誤った取り扱いをしたときに傷害または物的損害に結びつくもの

図記号の説明



禁止

禁止（してはいけないこと）を示します。具体的な内容は図記号の中や文章で示します。



指示

指示する行為の強制（必ずすること）を示します。具体的な内容は図記号の中や文章で示します。



注意

注意を示します。具体的な内容は図記号の中や文章で示します。



警告



分解禁止

分解・修理・改造をしない

火災・感電の原因になります。修理はお買い上げの販売店にご相談ください。



水濡れ禁止

本体や電源プレートを水につけたり、水をかけたりしない

ショート・感電の原因になります。

電源プラグ・コードは正しく扱う



根元まで差し込む

電源プラグは根元まで確実に差し込む

感電・ショート・発火の原因になります。



電源プラグを抜くときは、コードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く

感電・ショート・発火の原因になります。



交流100V
定格範囲内

電源は交流100Vで使用し、コンセントや配線器具の定格を超える使い方をしない

たこ足配線などで定格を超えると発熱による火災の原因になります。



ホコリをとる

電源プラグの刃にホコリが付いているときは、乾いた布でふき取る

火災の原因になります。



プラグを抜く

使用時以外やお手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜く

感電・けがをすることがあります。



禁止

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない

感電・ショート・発火の原因になります。



禁止

電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものをのせたり、挟み込んだり、加工したりしない

電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。



濡れ手禁止

濡れた手で電源プラグの抜き差しをしない

感電・けがの原因になります。

警告



プラグを
抜く

異常・故障時には、直ちに使用を中止して電源プラグを抜く

異常のまま運転を続けると火災・感電の原因になります。運転を停止してお買い上げの販売店にご相談ください。

【異常・故障例】

- 使用中、電源プラグやコード・本体が異常に熱くなる。
- 煙が出たり焦げくさいにおいがする。
- 本体が変形している。
- 本体の一部が割れたり、ゆるみ・がたつきがある。



プラグを
抜く

お手入れは電源プラグをコンセントから抜き、本体が冷めてから行う

感電・けが・やけどの原因になります。



禁止

調理中は、移動させない

調理物が飛び散り、やけどの原因となります。



禁止

本体と電源プレートの接続部にピンを差し込んだり、異物を付着させない

感電・ショート・発火の原因になります。



禁止

不安定な場所や熱に弱いテーブルの上、可燃物の近く(カーテンの近くなど)で使用しない

じゅうたん・畳・ビニールシート・樹脂などの上でも使用しないでください。
熱で変形・変色や火災の原因になります。



禁止

満水目盛り(MAX)以上の水を入れない

感電・けが・やけどの原因になります。



禁止

調理以外の用途には使用しない

けが・やけどの原因になります。



禁止

子供だけで使用させたり、幼児の手の届く所で使用しない

感電・けが・やけどの原因になります。



禁止

本体を傾けたり、ゆすったり、転倒させない

湯が流れ出て、やけどの原因になります。

注意



ふたを開けるときは、蒸気に注意する

やけどの原因になります。



禁止

専用の電源プレート・ふた以外は使用しない

付属の電源プレート・ふたを他の機器に使用しない

故障・発火の原因になります。



禁止

屋外や水気の多い場所で使用しない

感電・ショート・故障の原因になります。



禁止

壁や家具・他の電気機器の近くで使用しない

蒸気や熱で壁や家具を傷めたり、電気機器の発火や故障の原因になります。



禁止

ガスコンロなど熱源の近くや直射日光の当たる場所で使用しない

感電・ショート・発火の原因になります。



禁止

使用中や使用後しばらくは、電源プレート及び本体の高温部分には触れない

やけどの原因になります。



禁止

製品を落としたり、ぶつけたり等の強い衝撃を与えない

故障の原因になります。



禁止

本体を直火で加熱したり、空だきしない

変形・故障・火災の原因となります。



禁止

業務用など、家庭用以外の用途に使用しない

本製品は家庭用として設計されています。
業務用など家庭用以外に使用すると、火災などの原因になります。

使用上のご注意

- 本体や電源プレートの接続部を水に濡らしたり、金属物など異物を入れないでください。感電・ショートの原因になります。
- 初めて使用するときや長期間保管していたときは、本体に水を入れて2～3回すすぎ、再度水を入れてお湯を沸かし(P5参照)、そのお湯を捨ててください。
- 水などを捨てる場合は、操作ダイヤルにかからないように、右図の向きで捨ててください。本体の外側に水分がついた場合は、すぐにふき取ってください。



各部の名称

操作ダイヤル

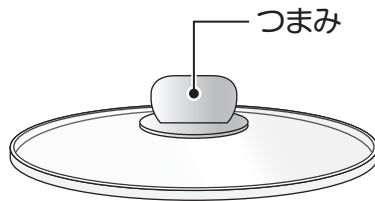
- 操作ダイヤルを右に回すと温度が高く設定されます。調理の具材の様子を見ながら火力を調節してください。
- 「LOW」「HIGH」「BOIL」の温度はあくまで目安です。

OFF	電源を切ります。 
LOW	約60℃程度まで加熱・保温します。 
HIGH	約90℃まで加熱・保温します。 
BOIL	沸騰します。 ※沸騰を継続します。加熱を止めたいときは操作ダイヤルを「OFF」の位置まで回してください。 

※HIGHに設定したとき、いったん沸騰することがありますが故障ではありません。しばらくすると沸騰がおさまリ、75～95℃程度の範囲で温度を調節します。沸騰させたくない場合は、設定を低めにしてください。

各部の名称

ふた

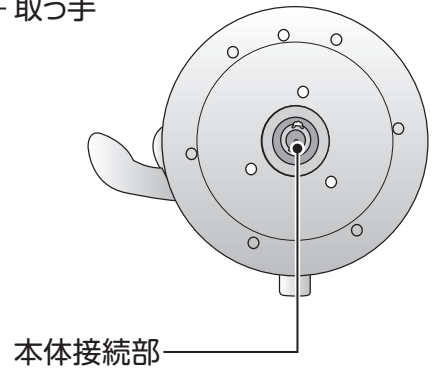


ふたは強化ガラス製ですが急激に冷やしたり、強い衝撃を与えたり、傷をつけないように取り扱いしてください。

本体

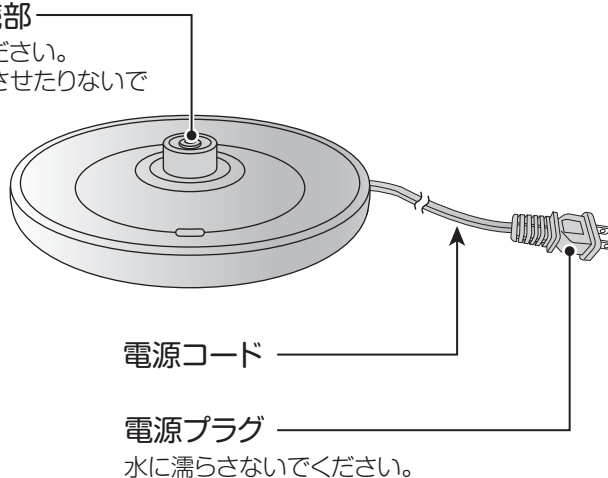


本体底面



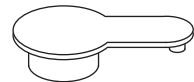
電源プレート

電源プレート接続部
水に濡らさないでください。
異物を差したり付着させたりしないでください。



付属品：防水カバー

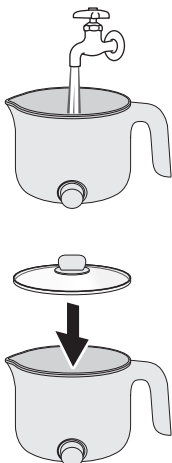
※本体を洗う時に使用します。



使いかた

お湯を沸かす お湯を沸かしたり、レトルト食品の温めができます。

1 ふたを取り外し、本体に水を入れて、ふたを閉める

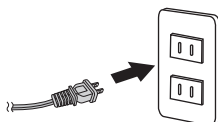
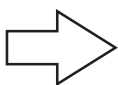
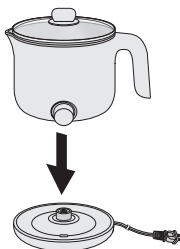


注意

- 満水目盛 (MAX) 以上の水を入れないでください。レトルト食品の温めをする場合は、レトルト食品を入れたときに満水目盛 (MAX) を超えない水量にしてください。
- 空だきをしないでください。
- ミネラルウォーターなどを沸かすとミネラル成分がケトル内部に付着しやすくなります。
- 電源プレートに本体をのせた状態で水を注がないでください。
- 流し台に置いたりして、本体底面を濡らさないでください。

2 本体を電源プレートにセットし、電源プラグをコンセントに根元まで確実に差し込む

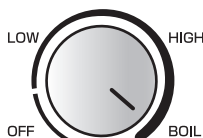
本体接続部と電源プレート接続部を合わせてセットしてください。



注意

- 本体接続部や電源プレート接続部に水やホコリなどが付着していないか確認してください。
- 電源コードをたばねたままで使用しないでください。
- 電源プレートは平らな安定したところに置いてください。

3 お湯を沸かす



- 操作ダイヤルを「BOIL」の位置まで回してください。
- お湯が沸騰するまでの時間は、水量・水温・室温などによって異なります。

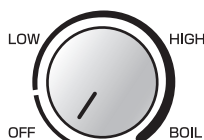


注意

- レトルト食品を入れるときは、やけどに注意してください。
- 湯沸かし中にお湯を注がないでください。やけどのおそれがあります。

使いかた

4 使用後は操作ダイヤルを「OFF」の位置まで回して電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く



本製品はお湯が沸騰したら加熱が止まる機能や保温機能はありません。



- 湯沸かし直後は本体が熱くなっていますので、ご注意ください。
 - 沸騰直後にふたを開けないでください。やけどのおそれがあります。
- また、本体底面も熱くなっていますので、テーブルなどに置く際は鍋敷きなどを敷いた上に置いてください。

茹でる・煮る

麺類を茹でたり、茹で卵、煮物などの調理ができます。

1 P5「お湯を沸かす」を参考に本体をセットする

2 操作ダイヤルを調理に合わせた位置まで回す

水の状態を確認しながら、調理物に合ったタイミングで材料を入れてください。



材料を入れるときは、やけどに注意してください。

3 使用後は操作ダイヤルを「OFF」の位置まで回して電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く

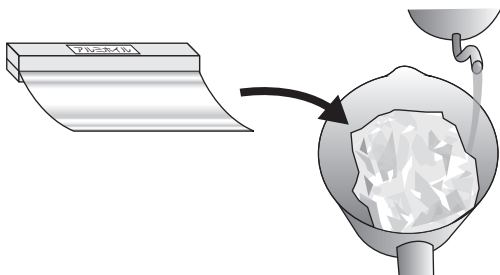


- 使用直後は本体が熱くなっていますので、ご注意ください。
 - 沸騰直後にふたを開けないでください。やけどのおそれがあります。
- また、本体底面も熱くなっていますので、テーブルなどに置く際は鍋敷きなどを敷いた上に置いてください。

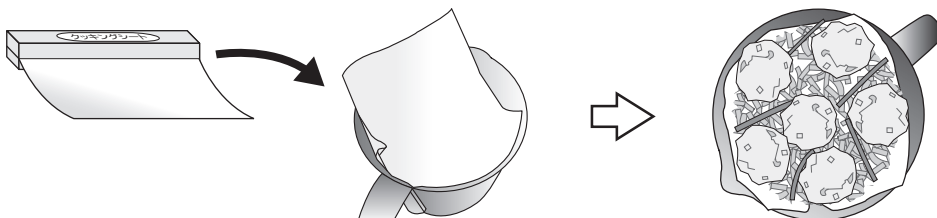
使いかた

蒸す 野菜やしゅうまい、中華まんなどを蒸すことができます。

1 アルミホイルを軽く固めて、本体の底に置き、水を注ぐ



2 クッキングシートを置き、その上に食材を並べる

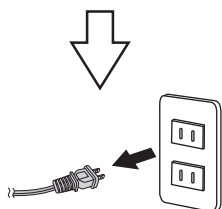


3 P5「お湯を沸かす」を参考に本体をセットし、操作ダイヤルを回して運転を開始する

4 使用後は操作ダイヤルを「OFF」の位置まで回して電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く



- 使用直後は本体が熱くなっていますので、ご注意ください。
 - 沸騰直後にふたを開けないでください。やけどのおそれがあります。
- また、本体底面も熱くなっていますので、テーブルなどに置く際は鍋敷きなどを敷いた上に置いてください。



お手入れ

必ず、電源プラグをコンセントから抜き、本体が冷めてから、お手入れをしてください。



警告

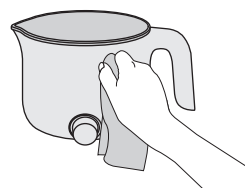
電源プラグを濡れた手で、抜き差ししないでください。
感電するおそれがあります。

ふ た

台所用中性洗剤を含ませたスポンジで洗い、水で流してからよく乾かしてください。

本体外側・電源プレート

- 乾いた柔らかい布でふいてください。
- がんこな汚れは、柔らかい布に台所用中性洗剤を含ませ、しぼってふいてください。
その後、布に水を含ませ、よくしぼって洗剤分をふき取り、さらに乾いた布でふいてください。

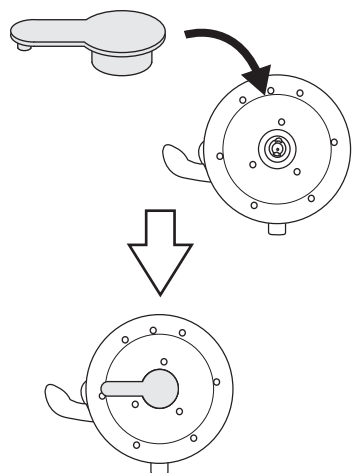


注意

- シンナー・ベンジン・漂白剤や磨き粉などを使わないでください。
変色・変質・劣化などの原因になります。
- 本体と電源プレートを水につけたり、丸洗いしないでください。
感電、故障の原因になります。

本体内側

- ①防水カバーの凸部を、本体底面の穴に合わせて取り付けてください。
- ②空になった本体に水を入れ、残った調理物などをやわらかいスポンジで取り除き、一度水を捨てます。
- ③再度水を入れてもう一度捨ててください。
- ④最後によくしぼったやわらかい布で水分を完全に拭き取ってください。



- 汚れが落ちにくい場合は、次のようにクエン酸などをお使いください。

- ①水を満水目盛 (MAX) まで入れ、その中にクエン酸を15g程度入れてかき混ぜます。
- ②ふたを閉めて沸騰させ、沸騰したら操作ダイヤルを「HIGH」以下に戻し、約1時間放置します。
- ③お湯を捨てて、水で十分すすいでください。
- ④再び水を入れて沸騰させてから、お湯を捨ててください。

※本体内側の白い斑点やさび状の斑点などは、水に含まれるミネラル分の作用によるもので、衛生上問題ありません。
※クエン酸を入れて長時間放置すると、本体内側のコーティングが剥がれるおそれがあります。

故障かな?と思ったら

修理を依頼される前に、次の点をお調べください。

こんなとき

ご確認ください

加熱できない

- 電源プラグはコンセントに差し込まれていますか。
→電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。
- 電源プレート上面や電源プレート接続部に、金属片やごみが付着していませんか。
→電源プラグを抜いてから、金属片やごみを取り除いてください。
- 本体が電源プレートから外れていませんか。
→本体を電源プレートに確実にセットしてください。
- 操作ダイヤルが「OFF」になっていませんか。
→操作ダイヤルを右に回してください。

沸騰前に止まる

- 空だきしませんでしたか。
→安全装置が作動して通電が自動的に切れます。本体を電源プレートから外し、冷ましてから水を入れてください。
- 「BOIL」に設定されていますか。
→沸騰する場合は操作ダイヤルを「BOIL」に合わせてください。

水がもれたり、ふきだす

- 満水目盛 (MAX) 以上の水を入れていませんか。
→満水目盛 (MAX) 以下に水を減らしてください。
沸騰させる場合はふたをしてください。

お湯がにおう

- 使い始めは樹脂などのにおいがすることがありますが、故障ではありません。
ご使用とともに少なくなります。

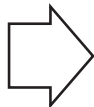
本体内側が
変色している

- 調理物の成分が付着して変色することがありますが、製品自体の変質ではありませんので、使用上・健康上の問題はありません。
→(P8「お手入れ」に従ってお手入れをしてください。)

上記の点検または処置をしても異常がなおらなかったり、原因がわからないときは、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店へご連絡ください。

こんな症状があったら

- 電源プラグ・コードが異常に熱くなる。
- コードに傷がついたり、触れると動作しなかったりする。
- 焦げくさいにおいがする。



ご使用を中止し、故障や事故の防止のため、必ず販売店にご相談ください。

仕様

電 源	AC100V 50/60Hz	質量(約)	1.0kg (電源プレート含む)
消費電力	600W	寸法(約)	幅185×奥行240×高さ195mm
コード長(約)	1.5m	最大容量	1.2L

アフターサービスについて

製品の保証について

- この説明書には製品の保証書がついています。
保証書は、お買上げの販売店で「お買い上げ日」「販売店名」などの記入を受け、内容をよくお読みいただき大切に保管してください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年間です。
保証書の記載内容により修理をいたしますが、保証期間中でも有料となる場合があります。
- 保証期間後の修理
お買い上げ販売店にご相談ください。修理によって使用できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」に沿ってご確認ください、それでも異常のあるときは、ただちに使用を中止し、お買い上げ販売店に修理をお申しつけください。ご自分での分解・修理は絶対にしないでください。感電やけがのおそれがあります。

補修用性能部品について

この製品の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切り後5年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■使いかたやお手入れなどのご相談は下記へ

この商品についてのお取り扱い・お手入れ方法などのご相談、ご転居されたりご贈答品などで、販売店に修理のご相談ができない場合は、右記までご相談ください。

お客様ご相談窓口

ナビダイヤル  **0570-019-700**

※PHS、IP電話など一部の電話からのご利用はできません。
受付時間 10:00～17:00 (土・日・祝日を除く)

- Eメールでの相談も受け付けております。
その際は商品名・品番・ご相談内容・お名前・お電話番号をご記入の上、ご相談ください。

Eメールでの相談は

info_a@yamazen.co.jp

個人情報のお取り扱いについて

株式会社 山善及びその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者には提供しません。

※お問い合わせの際には保証書に記載の商品名・品番をご連絡ください。